



電力・ガス・食料品等価格高騰 緊急支援給付金（5万円/1世帯）のご案内

受給には手続きが必要です

Information of “Special One-Time Benefit（¥50,000）”

- 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金（1世帯あたり5万円）は、住民税均等割非課税世帯や令和4年1月から12月の間に家計急変のあった世帯を支援する新たな給付金です。
- 給付金を受給するためには、手続きが必要です。

給付金の支給額

1世帯あたり5万円

給付金の支給時期

豊島区が確認書(または申請書)を
受理した日から4週間後が目安です。

支給対象と申請の有無

支給対象となる世帯（いずれかにあてはまる世帯）

①世帯全員の令和4年度
「住民税均等割が非課税」
の世帯

②令和4年1月～12月の収入が
減少し**「住民税非課税相当」**
の収入となった世帯(家計急変世帯)

豊島区から**確認書が届きます**
（要返送）

※一部申請が必要な場合があります。

申請が必要です

申請期間：令和4年11月14日（月）～
※申請時点で住民登録のある市区町村に
ご申請ください。

申請期限：令和5年1月31日（火）必着

支給手続きや支給要件の詳細はお問い合わせください。

内閣府住民税非課税世帯等に対する
臨時特別給付金コールセンター

0120-526-145

受付時間 9:00～20:00

（土日祝日、および12/29～1/3を除く）

電力・ガス・食料品等
価格高騰緊急支援給付金窓口

03-4566-4192

受付時間 9:00～17:00

（土日祝日、および12/29～1/3を除く）

「豊島区ひきこもり状態にある方に関する調査」の結果について

1. 調査対象等

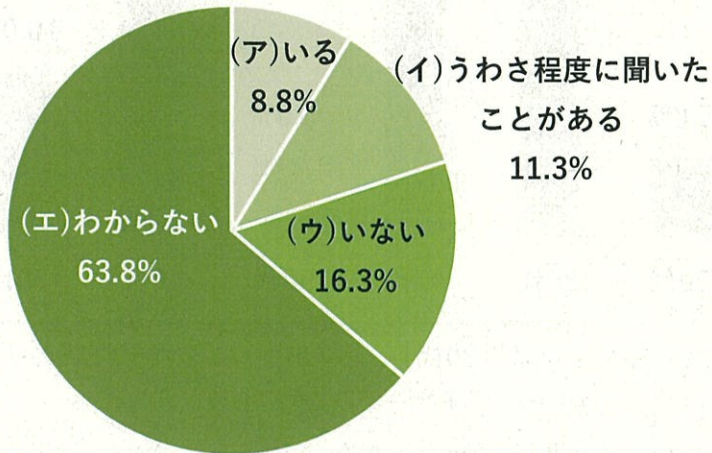
調査対象：128町会 回答：81町会（回答率：63.3%）

依頼方法：令和4年7月期の区政連絡会において、調査票を配付。郵送等にて回収。

2. 調査の結果

n=80

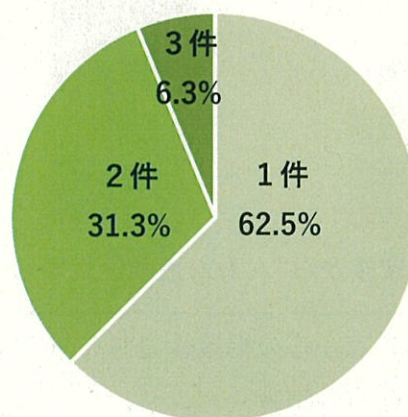
1：ひきこもり状態にある方の把握の有無



- ・最も割合が高かった回答は「わからない」で全体の約6割（63.8%）でした。
- ・次いで「いない」と答えた方が、2割弱（16.3%）いました。
- ・「いる」または「うわさ程度に聞いたことがある」と答えた方をあわせると、全体の約2割（20.1%）の方が、知っている可能性が示されました。

n=16

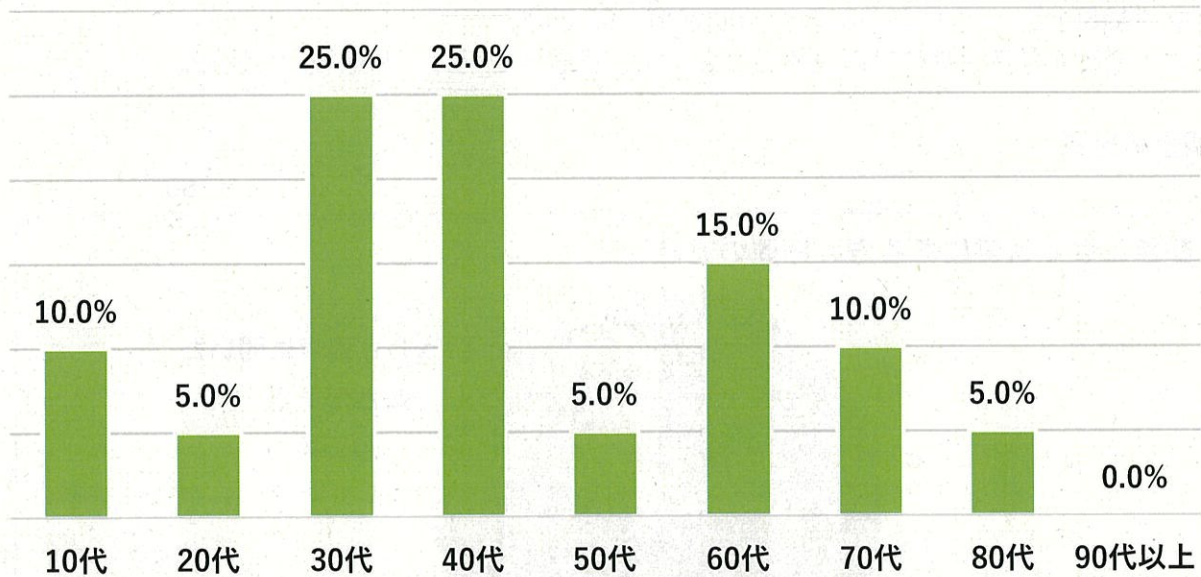
2：把握している件数



- ・最も割合が高かった回答は「1件」で約6割（62.5%）でした。
- ・次いで「2件」、「3件」という回答がありました。

n=20

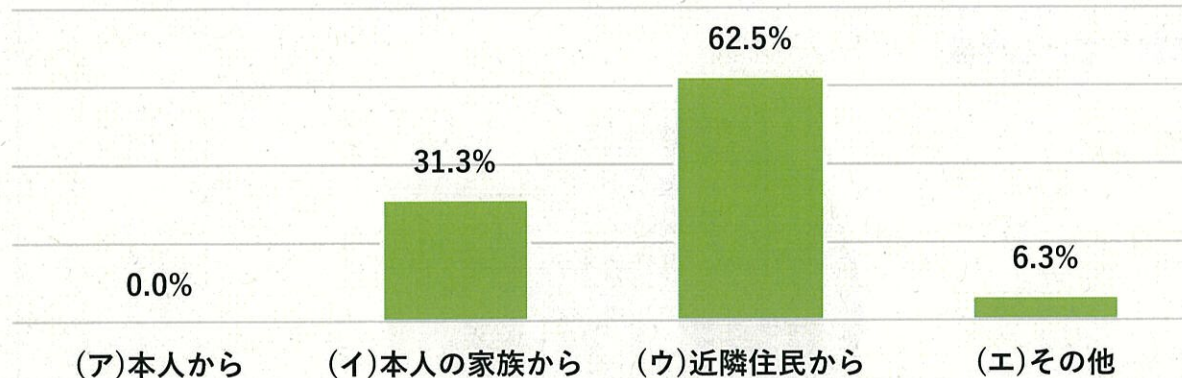
3：当事者の年代



- ・最も割合が高かった回答は「30代」、「40代」でそれぞれ25%ずつでした。
- ・次いで「60代」、「10代」と「70代」と続きます。
- ・「90代以上」の回答はありませんでした。

n=16

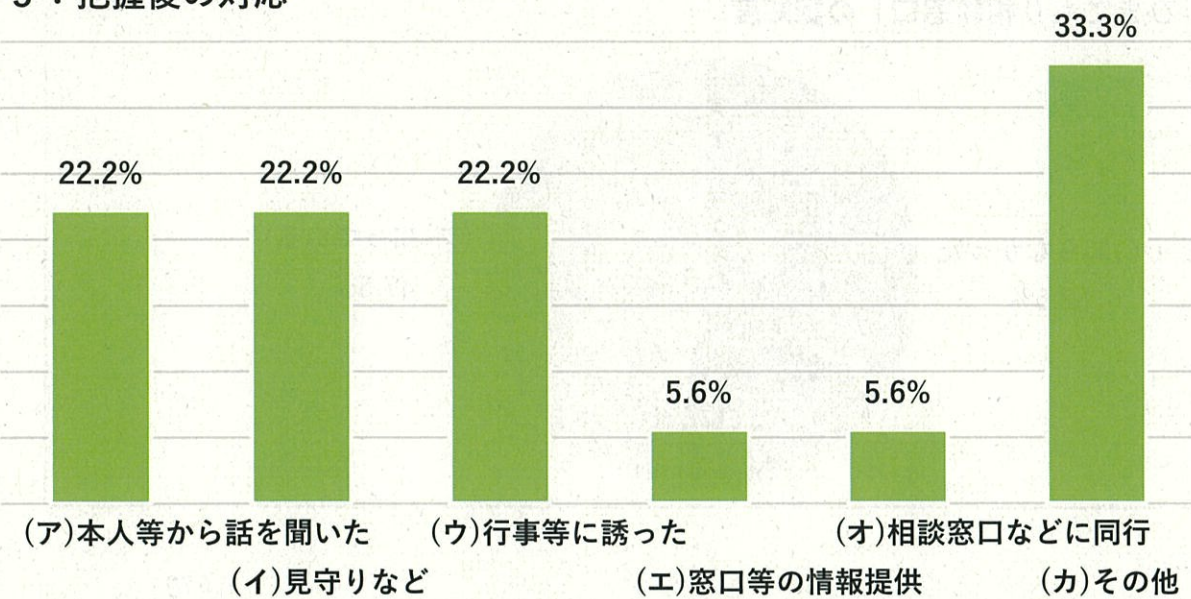
4：どのように把握したか



- ・最も割合が高かった回答は「近隣住民からの相談」で約6割（62.5%）でした。
- ・次いで多かったのは「本人の家族からの相談」で、「本人からの相談」と答えた方はいませんでした。
- ・その他は「近所のことからわかる」という内容でした。

n=18

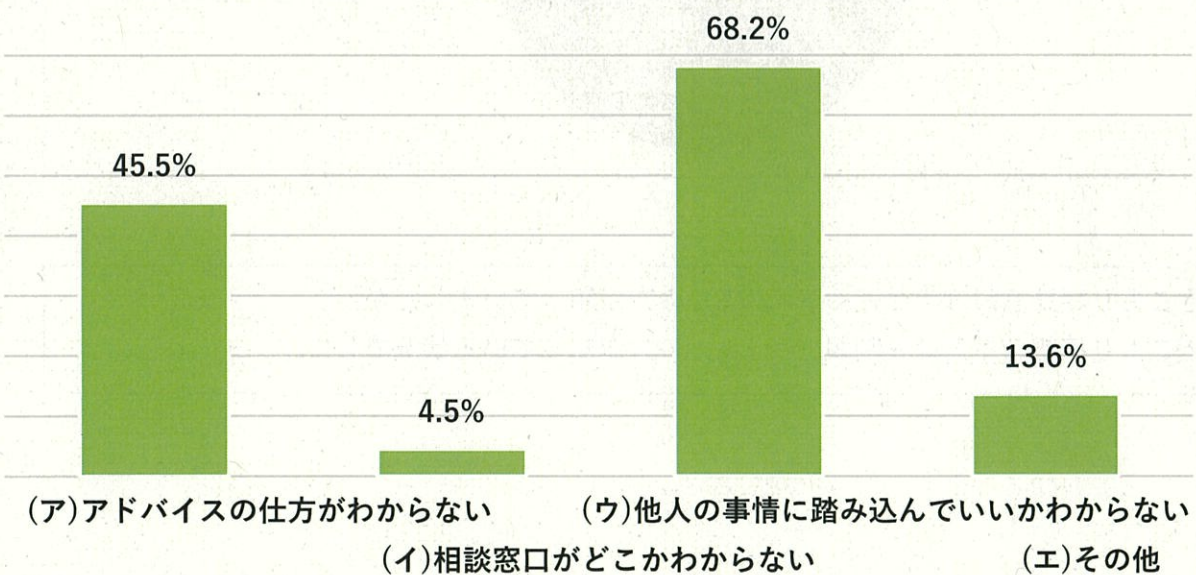
5：把握後の対応



- ・最も割合が高かった回答は「本人や家族から話を聞いた」、「定期的に見守りをするなど様子をみた」、「地域の行事・イベントに誘ってみた」となっており、それぞれ約2割（22.2%）の方から回答がありました。
- ・「その他」には「特に何もしていない」という内容の回答が5件ありました。

n=22

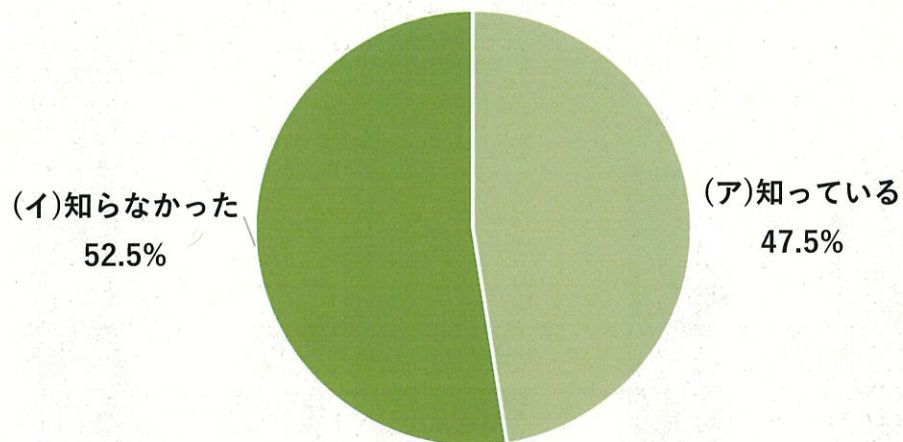
6：相談を受けて困ること



- ・最も割合が高かった回答は「他人の事情にどこまで踏み込んでいいかわからない」で、約7割（68.2%）の方が回答しました。
- ・「その他」には「家族がひきこもりと思ってない」や「特にない」という内容の回答がありました。

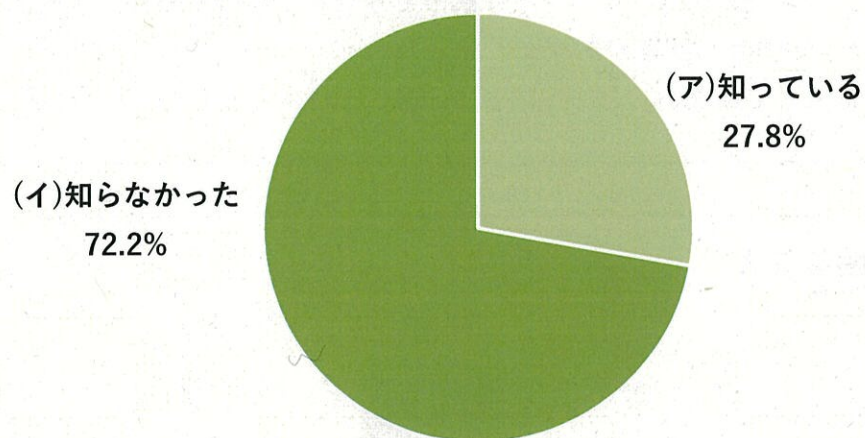
n=80

7：「ひきこもり相談窓口」の認知度



n=79

8：「ひきこもり情報サイト」の認知度



- ・ ひきこもり相談窓口は半数近く（47.5%）の方が知っていましたが、ひきこもり情報サイトは3割弱（27.8%）の方が知っている状況でした。